

## 2年 単元名「海の学習」(7時間)

### 1 単元設定の理由

学校の所在地は、宿毛佐伯フェリーや宿毛市営定期船航路（沖の島航路）があり、宿毛湾に面した宿毛市の海の玄関口である。近年、船舶の大型化に対する需要や、防災の対策として港湾工事も進められているが、本来宿毛湾は豊かな漁場であり、観光として見てもマリンレジャーを始め、釣りのメッカとしても全国にも名を馳せている。しかし、最近の情勢によって海に関係する職業人口が減少していて、子どもたちの保護者や親戚にもその影響は現れている。海に囲まれて生活している片島の子どもたちであるが、離島である沖の島や鶴来島へ行ったことや、多様な海の生物が生存する宿毛湾の自然環境について知っている子どもたちは少ない。卒業して将来、故郷の自然環境の素晴らしさを誇りに思い、堂々と故郷のことが語れる子どもたちを育成するため。

### 2 単元目標

我が故郷、宿毛市の自然環境の素晴らしさを見て学んで体験することで、身近な里海としての宿毛湾の魅力を再発見するとともに、これからも自然環境の保全に努めることが必要であることを認識し、将来故郷を自慢に思い、他市町村や他県の人にも故郷宿毛市（離島や海の生物等含）のことを自信持って紹介できる生徒を育成することができるように。また、成果の発表によって、全国の中学生に身近にある里海を再認識する機会となるように実施する。

### 3 単元の評価基準

- (1) 海の生物や自然環境に対して関心を持ち、意欲的に講話や体験活動に参加することができる。
- (2) 講話や体験活動を通して、大月町柏島の海の生物や自然環境について知り、自然環境の保護のためにできること等、言葉や文章で表現できる。

### 4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿毛湾の生物や自然環境について外部講師の講話を聴く。</li> <li>・講話を聴いて、振り返り・感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が講話を集中して聴ける場所と環境を整える。（多目的教室）</li> <li>・感想で終わるのではなく、自然環境の保護のために何が必要かを考えさせる。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大月町柏島竜ヶ浜でシュノーケリング体験を行う。（黒潮実感センター委託事業）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加生徒の安全を確保するために、シュノーケリングベストを着用させる。</li> </ul>
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シュノーケリング体験について、振り返り・感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「海の学習」を通して、故郷の海について、知り得た知識を用いて、自然環境の保護のために何ができるか等、文章に表現できるように考えさせる。</li> </ul>
外部連携 / 教材等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒潮実感センター長：神田 優さん</li> <li>・黒潮実感センターシュノーケリング体験プログラム</li> </ul>		